
2011

研究集録 第 16 号

研 究 主 題

児童生徒の生涯につながる支援を探る ―『8つの教育的支援の柱』に基づいた実践を通して―

まえがき

----本校の研究について----

I 研究主題について

II 研究計画

1. 研究計画

2. 研修内容

III 研究の取り組み

1. 「8つの教育的支援の柱とそのねらい」の検証

(1) つけたい力や支援内容の比較及び「8つの教育的支援の柱とそのねらい」の見直し

(2) 「8つの教育的支援の柱とそのねらい」の学校教育全体計画における位置付け

2. 卒業生の実態調査

3. 各学部の研究テーマとその概要

(1) 問題と目的

(2) 方法

(3) 結果と考察

(4) まとめ

IV 研究のまとめ

V 文献

----小学部の研究----

小学部段階における支援内容を探る(2)

—自立心を育む取り組みを通して—

I 研究テーマについて

II 研究の目的

III 研究の実際

1. 「自立心」について

2. 学校生活における自立心と捉えた行動

(1) 手順

(2) 自立心と捉えた行動の記録の分析

3. 授業における自立心を育む取り組み

(1) リズム運動の取り組み

(2) 掃除(低学年「生活」)の取り組み

(3) 一日「生活」(中学年「生活」)の取り組み

4. 学校生活の中での自立心を育む取り組み

(1) 自力通学をきっかけに積極性が増した児童F

(2) 一人でバスに乗ってみたいという気持ちが育った児童G

IV 研究のまとめ

V 文献

----中学部の研究----

中学部段階における『自ら社会に参加し、関わっていける力』の育成を目指して

—キャリア教育の支援から中学部教育を検証する—

I 研究テーマについて

II 研究の目的

III 研究の実際

1. キャリア教育の視点で中学部教育を検証する

(1) キャリア教育の視点で本校中学部教育を検証する

(2) 「『働くこと』に関する学習」を検証する

① 「『働くこと』に関する学習内容表」について

② 「『働くこと』に関する学習」の実践(クラスの取り組み)

③ 「『働くこと』に関する学習」の実践(グループでの取り組み)

(3)結果と考察

2.「自ら社会に参加し、関わっていける力」の育成を目指した取り組み

(1)はじめに

(2)実践事例

① 事例1「周囲の人や状況が見え始めた生徒F」

～『他者理解』『場に応じた言動』の視点から～

② 事例2「苦手なことにもチャレンジし、積極性が芽生えた生徒G」

～『自己理解』『協力・共同』の視点から～

③ 事例3「自分に自信を持ち、前向きになった生徒A」

～『自己理解』の視点から～

④ グループ学習

(3)結果と考察

IV 研究のまとめ

V 文献

----高等部の研究----

高等部段階で自立に向けてつきたい力を探る

—よりよく生きていくことを目指した実践—

I 研究テーマについて

1. テーマ設定の理由

2. 高等部の教育と研究との関わり

II 研究の目的

III 研究の実際

1. 高等部段階における自立を考える

(1)現代の自立観

(2)ICFの視点

(3)卒業生の生活実態から

(4)生徒一人一人の自立を考える

(5)本校高等部職員がイメージする自立観

2. 自立に向けてつけない力

3. 自立に向けた具体的な取り組み

(1)実践検討協議会

(2)教育活動全般における取り組み内容例

(3)教科「職業(進路)」の取り組み

IV 研究のまとめ

V 文献

あとがき